

## ● 当時の一年生の作文 ●

大和田小学校作文集「公害」(1971〈昭和46〉年2月)より

### 作文1

大さかの空は、はいいろだ。

スモッグで いっぱいだ。

いなかの いちちゃんが きたとき、

「きょうは、天気かくもりか、どっちか」

と、きいた。

おかあさんが、

「もちろん天気よ」

と、こたえた。

「へえー、夕がたみたいやなあ」

と、いった。

「これが、とかいのそらだ」

と、ぼくが いった。



千北病院(現・千北診療所)にて治療を受ける公害病患者(1971年)

### 作文2

ぼくは、いなかにすみたい。

いなかは、くうきが きれいだ。

虫も いっぱいいる。

ぼくの しっしんも なおる。

もし、

それも だめなら、

こうばには、

けむりが でなくなるような、きかいを

つけて ほしい。

車には

はいきガスが出ないように、してほしい。

ぼくだったら、

大きな ふくろの中に

けむりや はいきガスを入れて

火せいや 木せいや 金せいに

うちあげるように したい。